

取扱説明書 / 保証書

**テラダ底水用水中ポンプ
SP-150BNL
(清水、汚水用)**



もくじ		
安全上のご注意	1~3
各部の名前とその働き	4
付属品	4
お使いになる前に	5~6
運転のしかた	7~8
お手入れと点検	9~10
修理を依頼する前に	10~11
仕様	12
保証とアフターサービス	12
保証書	13~14
営業所一覧	15

- このたびは、テラダ底水用水中ポンプをお買い上げいただきましてありがとうございます。
- この製品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- 本書に記載されていること以外は行わないでください。事故や故障の原因になります。
- お読みになったあとは、いつも手元においてご使用ください。




安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
また、注意事項は危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」・「注意」に区分しています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。




 **警告** 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

 **注意** 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。










絵表示の例

	△記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な指示内容（左図の場合は差し込みプラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。







警告

	●ぬれた手で電源プラグに触れないこと 感電の原因になります。
	●修理技術者以外の方は分解したり修理や改造をしないこと 異常動作をしてケガをしたり、感電・火災の原因になります。
	●人や生き物が入っている水中でポンプを運転しないこと 感電の原因になります。

⚠ 警告

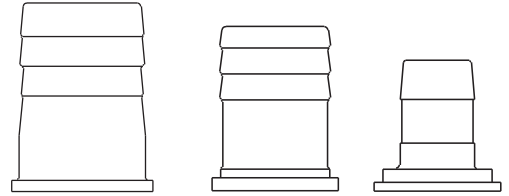
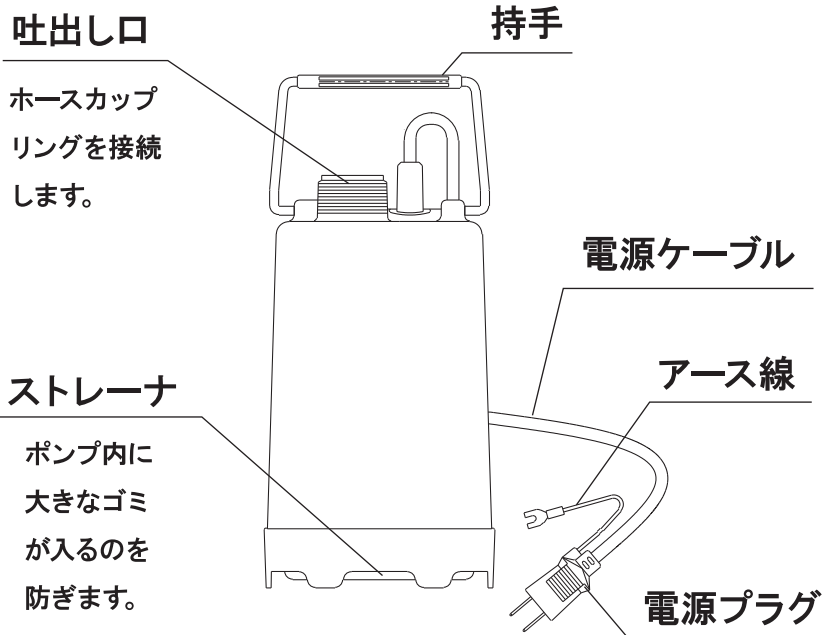
	<p>●アース接続を必ず行うこと</p> <p>アース線はガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。 アース接続が不完全な場合は、感電の原因になります。</p>
	<p>●専用の漏電しゃ断器を設置すること</p> <p>漏電のときに感電する恐れがあります。</p>
	<p>●電源プラグの刃の周囲にほこりが付着していないか定期的に確認し、 接続は刃の根元まで確実に差し込むこと</p> <p>ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電・火災の原因になります。</p>
	<p>●電源プラグや電源ケーブルがいたんだり、コンセントへの差し込みが 緩いときは使用しないでください</p> <p>感電・ショート・発火の原因になります。</p>
	<p>●漏電しゃ断器が作動した場合やその他の異常時には、電源プラグを 抜いてお買い上げの販売店に連絡すること</p> <p>そのまま無理に使用すると、感電・火災の原因になります。</p>
	<p>●掃除や点検をするときは、電源プラグを抜くこと</p> <p>感電したり、ケガの原因になります。</p>
	<p>●電気設備や配線工事は電気工事店に依頼すること</p> <p>誤った配線工事は、感電や火災の原因になります。</p>
	<p>●定格電圧・周波数で使用してください (銘板にて確認願います) (銘板位置はP 4「各部の名前とその働き」参照)</p> <p>性能の低下や故障につながります。</p>
	<p>●ポンプに幼児・子供が触れないよう安全な場所で使用してください</p> <p>ケガの原因になります。</p>

⚠ 注意

	<ul style="list-style-type: none">● 電源ケーブルを傷つけないこと <p>加工したり、引張ったり、束ねたり、重いものをのせたり、はさみ込んだりすると、電源ケーブルが破損し、感電・火災の原因になります。</p>
	<ul style="list-style-type: none">● 電源プラグを抜くときは、電源ケーブルを持って抜かないこと <p>必ずプラグを持って抜いてください。電源ケーブルを引っ張るとケーブルが傷つき感電・火災の原因になります。</p>
	<ul style="list-style-type: none">● 「清水・汚水専用」ポンプです (40℃以上のお湯、飲料水、土砂を含んだ汚水、ガソリン、灯油、化学薬品等 使用しないこと) <p>ポンプの故障や火災の原因になります。</p>
	<ul style="list-style-type: none">● ポンプは樹脂でできていますので、叩いたり、落としたり、火気に近づけないこと <p>ポンプの故障や感電・火災の原因になります。</p>
	<ul style="list-style-type: none">● 電源は専用コンセントを使用すること <p>電源ケーブルは途中で接続したり、延長ケーブルの使用やタコ足配線（他の機器と併用）した場合には、感電や発熱、火災の原因になります。</p>
	<ul style="list-style-type: none">● 使用されないときは電源プラグをコンセントから抜き、ポンプを水中から出すこと <p>絶縁が劣化すると漏電、火災の原因になります。</p>

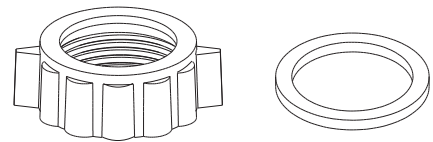
各部の名前とその働き

付属品



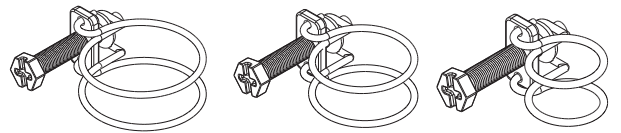
竹の子/3個

32mm用、25mm用、15mm用



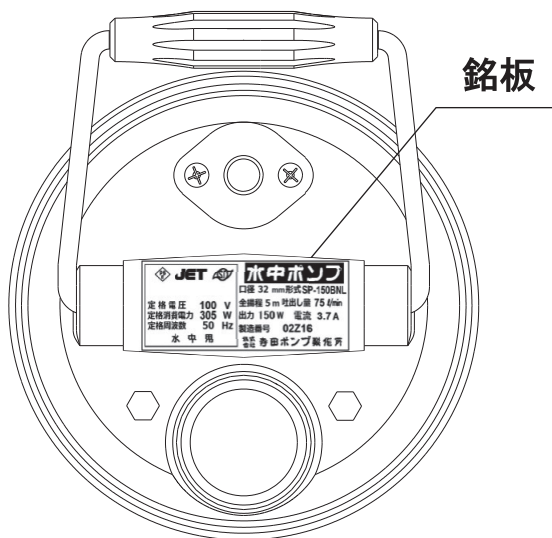
ホースカップリング/1個

ホースカップリングパッキン/1個



ホースバンド/3個

32mm用、25mm用、15mm用



50 Hz

		水中ポンプ	
口径 32 mm形式 SP-150BNL		全揚程 5 m 吐出し量 75 l/min	
定格電圧	100 V	出力	150 W 電流 3.7 A
定格消費電力	305 W	製造番号	02Z16
定格周波数	50 Hz	株式会社 寿田ポンプ製作所	
水中用			

60 Hz

		水中ポンプ	
口径 32 mm形式 SP-150BNL		全揚程 5 m 吐出し量 75 l/min	
定格電圧	100 V	出力	150 W 電流 3.0 A
定格消費電力	301 W	製造番号	23207
定格周波数	60 Hz	株式会社 寿田ポンプ製作所	
水中用			

お使いになる前に

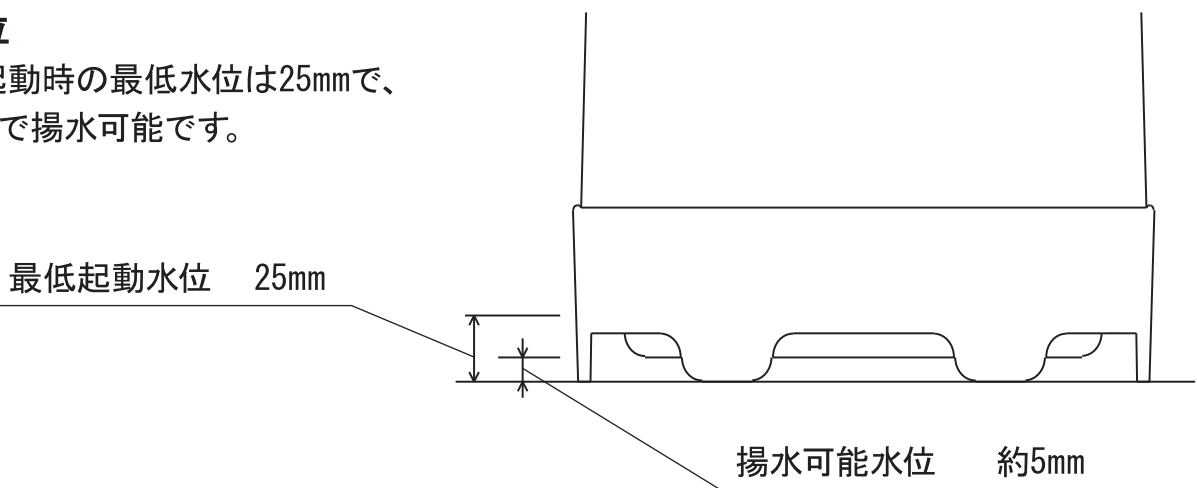
お願い

- 使用水温は0～40℃の範囲です。凍結の恐れのある場所や40℃を超える水中での使用は故障や動作不良の原因になります。
- 水以外の液体には使用しないでください。「清水・汚水専用」です。
- ポンプを空気中で運転しないでください。ポンプ等の故障の原因になります。
- スラリー（微粒子）・塩分・土砂等の異物を含んだ水を揚水すると、ポンプ寿命が著しく短くなりますのでご注意ください。
- 電源ケーブルを持ってポンプを吊り下げないでください。故障の原因になります。
- 樹脂部分には、有機溶剤（シール剤、接着剤）や油分がつかないようにしてください。割れる場合があります。
- 起動回数は1時間に6回以内になるようにしてください。保護装置が作動し、ポンプが停止することがあります。
- 仕様は改良などのため、予告なく変更することがあります。

底水について

運転水位

- ポンプ起動時の最低水位は25mmで、約5mmまで揚水可能です。



お願い

- 最低起動水位、揚水可能水位は水面が静かな状態でポンプを垂直に設置したときの値です。水面が波立っているときやポンプに傾きがある場合には変動します。
- ポンプ停止時に配管内部の水が落下しますので、必要に応じて吐出し口にボールバルブや逆止弁を取り付けてください。

お使いになる前に

確認・テスト

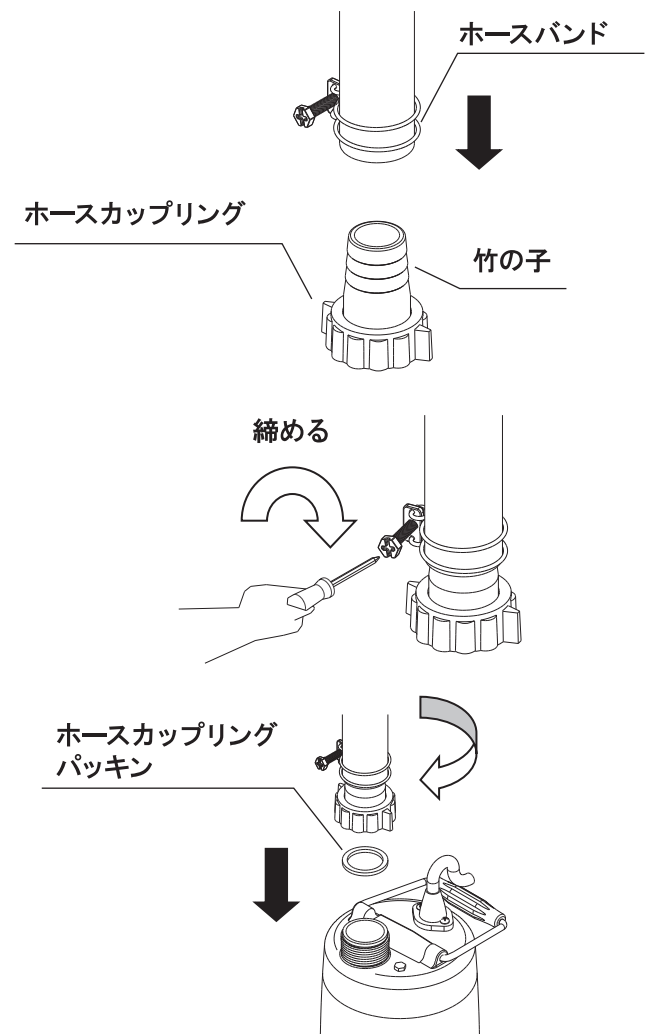
1. ご注文通りのものかどうか銘板を見てご確認ください。
特に50Hz用と60Hz用にご注意ください。
2. 破損箇所やネジのゆるみがないかご確認ください。
3. 使用する前にアースを接続し、次に電源プラグをコンセントに差し込んで、ポンプが正常に起動するかテスト運転をしてください。(気中運転で確認する場合は5秒以内にしてください)
4. 確認後電源プラグを抜くか、電源を切ってください。

ホースの取り付けかた

⚠ 注意

●ポンプは樹脂でできていますので、シール剤や接着剤をつけないこと。

1. ホースにホースバンドを入れ、ホースカップリングに竹の子を通し、竹の子にホースを差し込んでください。
ホースは竹の子の根元までしっかりと差し込んでください。
※使用するホースの外径に合うホースバンドを使用してください。
※ホースの差し込みが不十分ですと、運転中にホースがはずれる恐れがあります。
2. ホースバンドでホースを締め付けてください。
※ホースバンドのネジを工具でまわしてホースをしっかりと固定してください。
3. ホースカップリングを吐出し口に取り付けてください。
※ホースカップリングパッキンを入れしっかりと締め付けてください。



必要工具は下記のいずれかを使用してください。

(+)ドライバー、(-)ドライバー
スパナ、メガネレンチ、モンキーレンチ等

⚠ 警告



- 人や生き物が入っている水中でポンプを運転しないこと
感電の原因になります。

手順

1. ポンプを水中に沈めてください。

- ポンプの持ち手にロープを結び付けて、ロープを持ってゆっくりと水中に沈めてください。

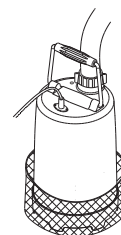
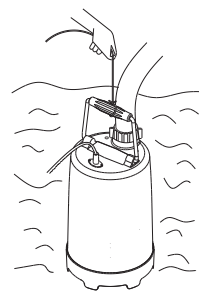
(電源ケーブルやホースを持たないでください。断線や破損の原因になります)

- ポンプ全体を水中に入れて運転してください。

(ポンプ起動時の水位が25mm以下の場合には揚水できません)

※ホースを取り付けた状態で水中に入れる際は、ポンプを斜めにしながら空気を出すようにしてください。

(エアロックに注意してください。P8参照)

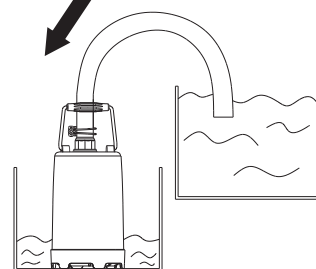


2. ポンプを垂直に安定させてください。

- 固形物が多い場合は、ポンプのまわりに金網などの「ごみよけ」を取り付けてください。

※水底が泥や砂などで軟弱な場合や、羽根車への砂等のかみこみによるポンプ停止が頻繁に発生する場合は、ポンプ底部にブロック等を敷いて倒れないように据え付け、水底の泥や砂を吸い上げないようにしてください。

逆流



3. ポンプの吐出し口にホースの荷重がかからないようにホースを支持してください。

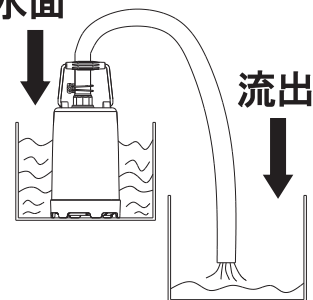
4. ホースの先端が水中に入らないように固定してください。

- ホースの先端は、吐出し側の水中に入らない位置に設置してください。

ホースの先端が水中に入っていると、ポンプ停止時にサイホンの作用で水が逆流します。

- ホースの先端が水面より低い位置の場合、ポンプ停止時でもサイホンの作用で水が流出します。

水面



⚠ 注意

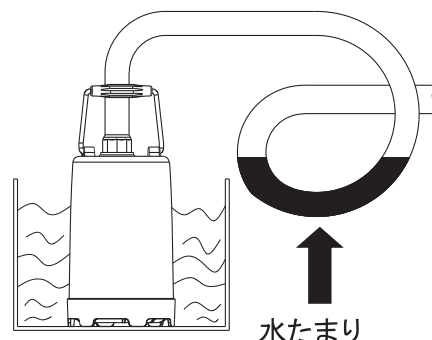
- 市販のシャワーノズルなどをご使用される場合、締切り運転回数はできるだけ少なくし、締切り状態での連続運転は5分以内にご覧ください。

運転のしかた

手順

5. ホース中間の曲がりをなくしてください。

- ホース中間に水がたまった状態ですと、再運転時にホース内の空気を排出できず揚水できない場合があります。
その場合は、ホース内の水を一度抜いてから再運転してください。

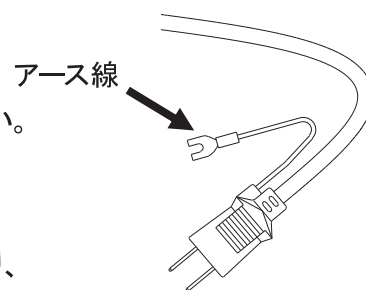


6. アース線は必ず接続してください。

- ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。

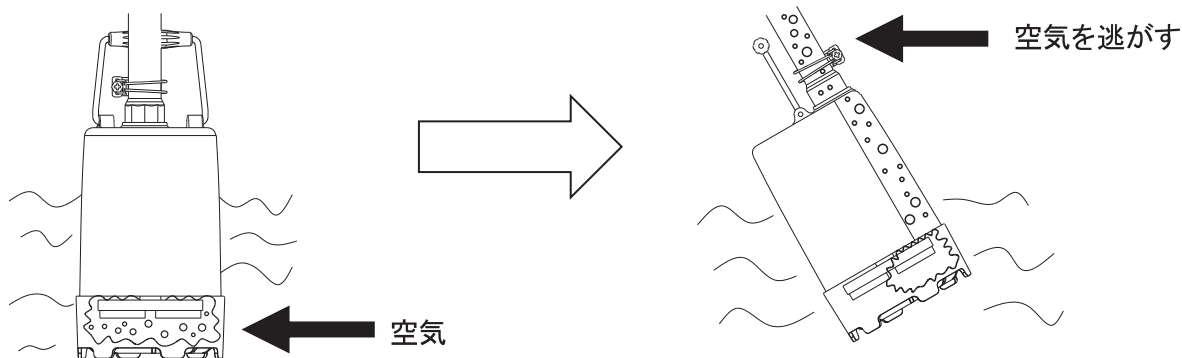
7. 電源プラグを専用コンセントに差し込んでください。

- 電源プラグの刃は、絶対に水に濡らさないでください。
差し込んだ後は必ず正常にポンプが運転していることをご確認ください。



8. エアロックが疑われる場合は下記の手順で解除してください。

- エアロックは、ケーシング内に空気がたまり吸込み口を塞ぐ現象であり、この場合ポンプを起動しても揚水しないことがあります。
ポンプを起動し揚水しない場合は、吐出し口側を高くして、ポンプを揺すり空気を逃がしてください。



9. 揚水可能水位は約5mmです。

(ポンプを停止するとホース内の水が戻り、多少水位が増えます。)

⚠ 注意	●空運転はしないでください。発熱により故障の原因になります。
⚠ 警告	●停電時には電源プラグをコンセントから抜いてください。 復旧後の不意のポンプ始動は大変危険です。

お手入れと点検

⚠ 警告



●掃除や点検をするときは、電源プラグを抜くこと
感電したり、ケガの原因になります。

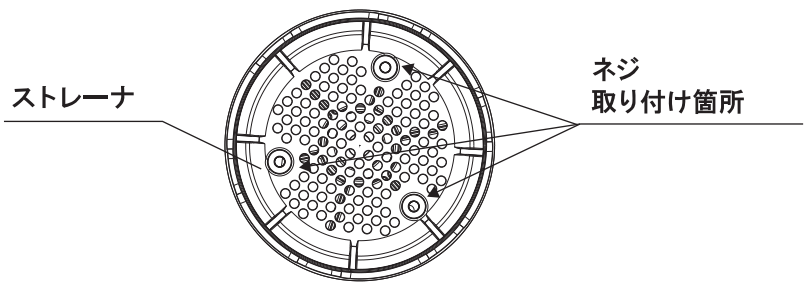


●下記指定部以外の、分解又は修理は絶対に行わないでください
異常動作や漏電、感電、火災、漏水などの原因になります。

点検要領

●サクカバーと羽根車の掃除

1. ストレーナを取りはずしてください。
ポンプを横にし、ポンプ底面のストレーナ
取り付けネジ(3本)をドライバーでゆるめて
ストレーナを取りはずしてください。



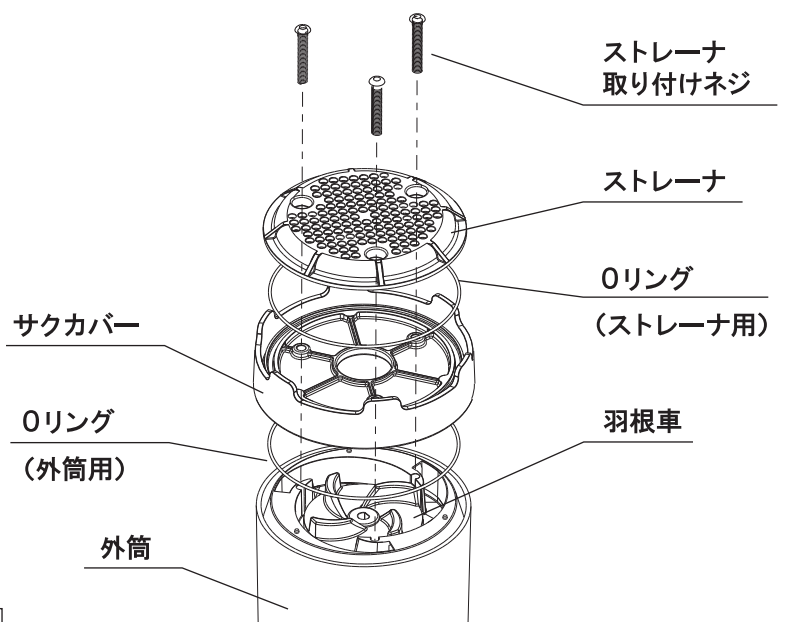
2. サクカバーを取りはずしてください。

羽根車より奥は、分解しないでください

3. ごみを取り除いてください。
サクカバー内や羽根車につまったゴミ等を
取り除いてきれいに洗浄してください。

4. 元通りに組み立ててください。
洗浄後は手で羽根車が軽く回ることを
確認の上、分解の逆の手順で組み立て
てください。

※Oリングの取り付け忘れに注意してください。
※Oリングは外筒用/ストレーナ用でサイズが
異なりますので、サクカバーのパッキン溝に
合うようにセットしてから組付けてください。



必要工具は下記のいずれかを使用してください。
(+)ドライバー、メガネレンチ等

お手入れと点検

お願い

- 掃除をするときは、柔らかい布でふいてください。
ベンジン、ガソリン、シンナー、クレンザー、洗剤（酸・アルカリ）、熱湯などは使わないこと。
キズがついたり、破損の原因になります。
- 長期保管される場合は水洗い（内面、外面）を十分に行った上で完全に乾燥させてから保管するようにしてください。
- 絶縁抵抗・メカニカルシールの点検
3,000時間毎に、お買い上げの販売店にご依頼ください。
メカニカルシールは消耗部品です。摩耗するとポンプモータ部に浸水し漏電します。交換目安は清水で3,000時間となりますが、ご使用液の状態により大幅に短くなる場合がございます。
- 部品に破損等がある場合は交換が必要です。お買い上げの販売店へご連絡ください。

修理を依頼する前に

⚠ 警告



- 修理技術者以外の方は分解したり修理や改造をしないこと
異常動作をしてケガをしたり、感電・火災の原因になります。



- 漏電しゃ断器が作動した場合やその他の異常時には電源プラグを抜いてお買い上げの販売店に連絡すること
そのまま無理に使用すると、感電・火災の原因になります。

修理を依頼する前に

お願い

「故障かな?」と思ったら、まず電源プラグをコンセントより抜き、下記の内容をお調べください。それでも具合の悪いときは、すぐにお買い上げの販売店へご連絡ください。販売店へ連絡するときは、ポンプ銘板に記載の形式・製造番号、お買い上げ年月日と故障状況をお知らせください。

故障状態	故障原因	対策・処置
ポンプが起動しない	停電している	電気工事店または電力会社に連絡する
	電圧が低すぎる	
	電源プラグのはずれ	確実に接続する
	電源回路の接続不良	接続部分を点検する
	羽根車にゴミかみこみ	9ページの点検要領にそってゴミを取り除く
ポンプが運転中に停止する	気中運転となり モータが異常発熱している	水位を上げる
	水温が高い	水温を下げる
	電圧が低下している	延長ケーブルの使用や、たこ足配線による電圧降下がないか確認する
	羽根車にゴミかみこみ	9ページの点検要領にそってゴミを取り除く 頻度が多い場合は7ページを参照
吐出し量が少ない、 又は水が出ない	ストレーナにゴミが付着	9ページの点検要領にそってゴミを取り除く
	ホースがつぶれている	ホースがつぶれていないか点検し、曲がりを少なくする
	ポンプ内のつまり	9ページの点検要領にそってゴミを取り除く
	空気を吸い込んでいる	水位を上げる
	ホース途中で水がたまっている	8ページの手順にそってホースを点検する
	ポンプ能力以上の揚程となっている	銘板値を確認し配管条件を見直す
	電圧が低い	延長ケーブルの使用や、たこ足配線による電圧降下がないか確認する
	エアロック	8ページの手順にそって空気を抜く

仕様

口径 mm	形式	周波数 Hz	吐出し量 ℓ/min	全揚程 m	出力 W	電圧 V	相	消費電力 W	質量 kg
32	SP-150BNL	50	75	5	150	100	単相	305	4.6
		60						301	

保証とアフターサービス

修理を依頼するときは

ご使用中に異常が生じたときは、ご使用を中止し電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。修理には専門の技術が必要です。

(保証期間中は)

修理に関しては保証書(13~14ページ)をご覧ください。

保証書の規定に従って販売店にて修理を受付させていただきます。

(保証期間が過ぎているときは)

修理可能な場合は有料で承ることが可能です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談やご不明な点はお買い上げの販売店または、お近くの当社営業所にご相談ください。

保証書

品名 テラダ底水用水中ポンプ	形式 SP-150BNL
★お客様お名前 様	保証期間 ※お買上日 年 月 日から 1年または、運転3,000時間（本書に記載のご使用方法の場合に限る）の短い方 レシートまたは、販売証明書がない場合は 保証対象外となります。
★お客様ご住所	★TEL () -
※取扱販売店名、住所、TEL	
(印)	

本製品は清水・汚水用水中ポンプです。

保証期間の3,000時間は本書に記載されたご使用方法の場合を対象としています。

スラリー（微粒子）・塩分・土砂等の異物を含んだ水でのご使用は、保証対象外となりますのでご注意ください。

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げの日から上記保証期間中に、取扱説明書、本体ラベル、その他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、お買い上げの販売店にて修理を受付いたしますので、修理依頼に際して本書をご提示ください。

★印、※印欄に記入のない場合は、無効となりますので必ずご確認ください。

保証書

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - お買い上げ後の使用場所の移動、落下、輸送等による故障または損傷。
 - 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
 - 車両・船舶への搭載など、一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷。
 - 本書の提示がない場合。
 - 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 異常水質、異常水圧などによる故障および損傷。
 - 電源プラグの水濡れによる故障。
 - 仕様変更など。
- 出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- ご転居の場合は、事前にお買い上げ販売店にご相談ください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

●修理メモ

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権限を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合はお買い上げの販売店または、お近くの当社営業所にお問い合わせください。

補修用機能部品の最低保有期間

テラダ底水用水中ポンプの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後5年です。補修用機能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

アフターサービスはお買い求めの販売店へ

- 東京支社 〒116-0002 東京都荒川区荒川1-49-1 荒川第10秦ビル2F
TEL 03-3803-1161(代) FAX 03-3803-1162
- 神奈川営業所 〒252-0134 神奈川県相模原市緑区下九沢2125-1-101
TEL 042-774-3670(代) FAX 042-774-3671
- 北関東営業所 〒360-0015 埼玉県熊谷市肥塚2丁目7番28
TEL 048-523-2654(代) FAX 048-525-5216
- 仙台営業所 〒984-0011 宮城県仙台市若林区六丁の目西町3-33
TEL 022-287-0231(代) FAX 022-287-0235
- 新潟営業所 〒950-0948 新潟県新潟市中央区女池南1丁目5番16号
TEL 025-284-0011(代) FAX 025-284-1212
- 名古屋営業所 〒457-0004 愛知県名古屋市南区中江2丁目2番9号
TEL 052-819-0188(代) FAX 052-819-0180
- 静岡営業所 〒420-0884 静岡県静岡市葵区大岩本町26-32 パーキング城北1F-C
TEL 054-200-1002(代) FAX 054-200-1003
- 大阪支社 〒540-0011 大阪府大阪市中央区農人橋二丁目1番30号 谷町八木ビル9F
TEL 06-6940-1177(代) FAX 06-6940-1178
- 岡山営業所 〒700-0971 岡山県岡山市北区野田三丁目9-10-2 岡崎事務所1F東
TEL 086-245-4497(代) FAX 086-245-7246
- 高松営業所 〒761-8078 香川県高松市仏生山町甲836番地1ガ-テンハイビル1101号
TEL 087-888-5118(代) FAX 087-888-5119
- 福岡営業所 〒812-0016 福岡県福岡市博多区博多駅南3-10-23 第5西田ビル2F-E
TEL 092-411-7555(代) FAX 092-411-7585
- 広島営業所 〒733-0861 広島県広島市西区草津東1丁目1-6 第3松本ビル1F
TEL 082-271-6505(代) FAX 082-271-6506
- お電話でのお問い合わせ 月～金 9:00～12:00 13:00～17:00 (土、日、祝日、大型連休を除く)



株式会社 寺田ポンプ製作所

〒635-8535 奈良県大和高田市東雲町3番17号
TEL 0745-52-5101(代) FAX 0745-23-0013

E-mail: info@teradapump.co.jp

<http://www.teradapump.co.jp/>